

「音声Webアクセス」

受賞業績 音声ブラウザの開発とWebアクセシビリティ技術普及への貢献

浅川智恵子^{*1}, 高木啓伸^{*1}, 福田健太郎^{*1}, 伊藤 隆^{*1}, 前田潤治^{*2}

^{*1} 日本アイ・ビー・エム (株) 東京基礎研究所

^{*2} アイ・ビー・エム ビジネスコンサルティングサービス (株)

このたびはこのような栄えある賞をいただき大変光栄であり、あらためて身の引き締まる思いがする。ホームページ・リーダーを開発してからすでに干支一回りの時間が経過した。この間に Web が人々の生活にとってなくてはならない存在へと成長したことは言うまでもない。しかし新聞、教科書、郵便物といった印刷文字を読むことのできない視覚障害者にとって、音声読み上げ技術で即座にアクセスできる膨大な Web 上の情報やサービスが社会参加のための「必須の道具」としてその重要性をいまだに増し続けていることは想像に難くないであろう。

受賞者の 1 人である浅川が初めて Web の情報に触れた 1995 年には、まだ単純にテキスト情報を読み上げるソフトウェアしか存在しておらず、ごく一部の情報にしかアクセスすることができなかった。しかし、その向こうに広がる膨大な情報源という可能性は明確に感じる事ができた。そこから Web という新たなハイパーテキスト情報に対する音声アクセスの研究がスタートし、ハイパーテキストリンクの音声表現や表構造のナビゲーション方法などを実現することで 1997 年には製品化にまでこぎつけることができた。反響は非常に大きく、多くの視覚障害者ユーザから喜びの声が寄せられたことは研究チームにとって大きな励みになった。

思い返せばその後の研究開発はそのようなユーザの声伝えるための技術群を生み出す作業であった。トランスコーディングでは使い勝手の悪いページを自動的に変換・向上する技術に取り組んだ。aDesigner では、視覚障害者にとってのユーザビリティの善し悪しを視覚的に表現することで、健常者である Web 開発者に伝える技術に取り組んだ。またこれらの技術が広く社会基盤として利用できるようにオープンソース化にも取り組んできた。また、世界的に大きなうねりとなりつつある Web アクセシビリティ普及活動、とくに標準化や法制化にも

微力ながら技術的側面から貢献するよう努力してきた。

今、Web アクセシビリティは大きな変革期にある。ネットワーク回線や端末の向上とともに視覚的にダイナミックなコンテンツが主流になりつつある。社会的には、先進国における高齢者や発展途上国における非識字者への情報提供が重要な課題となりつつある。このような新しい時代の到来に向けて、この賞をひとつの節目として、今後も研究開発を進めていきたい。最後にこれまでご協力いただいたユーザの方々、ボランティアの方々、標準化やオープンソースでご協力いただいたの方々、そして研究を支えてくれた IBM リサーチの同僚への感謝の言葉で本稿の締めとさせていただきます。

(平成 21 年 5 月 1 日受付)

浅川智恵子 (正会員) chie@jp.ibm.com

日本アイ・ビー・エム (株) 東京基礎研究所にて、非視覚的ユーザ・インタフェースを中心としたアクセシビリティ・テクノロジーの研究開発に従事。1997年ホームページ・リーダーを開発。2004年東京大学工学系研究科先端学際工学専攻博士課程修了。2009年 IBM フェロー就任。博士 (工学)。

高木 啓伸 (正会員) takagih@jp.ibm.com

1999年東京大学理学系研究科情報科学専攻単位取得退学。日本アイ・ビー・エム (株) 東京基礎研究所にて Web アクセシビリティに関する研究開発に従事。2000年学位取得。博士 (理学)。

福田健太郎 (正会員) kentarou@jp.ibm.com

2000年大阪大学大学院基礎工学研究科情報数理系専攻修了。日本アイ・ビー・エム (株) 東京基礎研究所にて Web アクセシビリティに関する研究開発に従事。博士 (工学)。

伊藤 隆 JL03313@jp.ibm.com

1982年京都産業大学理学部卒業。日本アイ・ビー・エム (株) にてパーソナルコンピュータ基本制御ソフトウェア、ホームページ・リーダー等の開発を経て、現在東京基礎研究所にてアクセシビリティに関する研究開発に従事。

前田 潤治 (正会員) maeda@jp.ibm.com

1992年東京大学大学院理学系研究科情報科学専攻博士課程単位取得退学。日本アイ・ビー・エム (株) 東京基礎研究所にてアクセシビリティ、画像処理、グループウェアの研究に従事。2006年よりアイ・ビー・エム ビジネスコンサルティングサービス (株) 勤務。